

マイアミを活性化する 2つのビッグニュース

夢の街マイアミ 不動産投資事情

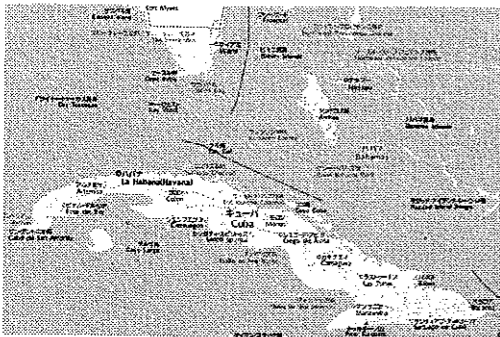
コアラ社長の

日本時間12月18日、ビッグニュースが同時に2つも飛び込んできたため予定していた外国人向けローンの話題は次回に。

まずひとつは共和党ジエブ・ブッシュ氏の大統領選出馬表明である。父・兄ともに大統領経験者でありフロリダ州知事を2期8年高支持率で務めあげた経験がある。現在はマイアミの高級自宅街に住まいを構えているため、今後はマイアミを中心に活動が予想される。

コロンバ夫人はメキシコ生まれであり、米国内で人口増加が激しいヒスパニック系国民からの支持も得やすい。2016年大統領選は民主党のヒラリー・クリントン氏との一騎打ちとなる可能性は大きく、選挙人29人を抱える大票田であるフロリダ州は注目だ。

もう一つのニュースはキューバとの国交正常化である。1961年の国交断絶から53年。59年にキューバ革命を起こしたフィデル・カストロ元議長の実弟で革命メンバーであったラウル・



国交正常化でキューバ観光のハブに

カストロ現議長は反米路線として同盟国であるベネズエラのチャペス元大統領の死後、自国の経済悪化を懸念しオバマ大統領との水面下で交渉を続けていたのだ。

筆者も1年ほど前に知人からキューバと石油メジャーとの間で極秘の商談が行われているという噂を耳にしていた。マイアミ人口の60%以上を占めるヒスパニック系の大多数がキューバ人であるため、このニュースはキューバ本国とともにマイアミにおいてもビッグニュースとなった。

現在、米国人によるキューバ渡航は原則禁止となっており、またキューバを経済的に封じ込めるために亡命キューバ人の米国市民権の取得に関しては極端に容易になっている。国交正常化ともなれば、他国民と同様の扱いとなることが予想されるため、キューバ人の駆け込み亡命も盛んになるかもしれない。

マイアミからほんの30分ほどのフライトであるキューバは米国人未踏の地として今後、観光の目玉になることも予想される。米国系航空会社は相当地本数のフライトをキューバに飛ばすことになり、マイアミ港を発着する豪華クルーズ船もキューバをターゲットにしないうが、全米からのキューバ観光のハブとしてマイアミの役割は大きくなるはずだ。

またキューバとの国交正常化で米国が孤立を狙うベネズエラからは、資産家によるマイアミ不動産への投資がさらに加速するであろう。

キューバ系米国人の多くは共和党であり、革命前後のキューバ系米国人は正常化に反対のようである。逆に80年代に移住してきた人々は、祖国から親戚や友人などを容易に呼ぶこともできると歓迎ムード。世代によって賛否両論の声が飛び交っていると知人のキューバ系米国人から聞いた。

今後もマイアミ周辺の情勢に注目したい。

(小原隆浩)

隔週掲載